

平成22年度 第3回高梁市地域公共交通会議議事録（要約）

日時：平成23年3月10日（水）9：30～11：10

場所：高梁市役所 別館3階 第一会議室

1. 開会

2. あいさつ

松前副会長あいさつ

事務局：会議成立確認（過半数出席確認：委員14名中10人出席）

規定により副会長に議事進行をお願いしたい。

3. 協議事項

(1) 22年度計画事業の運行計画変更（案）について（事務局説明）

①有漢乗合タクシー実証運行計画変更案について(資料1)

- 委員：有漢ふれあいタクシーの無料体験乗車会での要望として、ダイヤの変更、目的地・運行日を増やすというのがあった。制度として利用しやすくするのが前提であり、毎日運行が良いと思う。潜在利用者が多い中で、利用が伸びないのは、住民がイエローカードを出しているということであり、利用を見ながら対応するのではなく、制度設計がきちり出来てこそ利用者増につながると思う。
- 委員：計画案にあるダイヤで高速バスへの接続は、うまくできるのか。
- 事務局：接続に合わせて運行するので、問題は無いと考えている。備北バスを優先としているので、両方の利用者がある場合など状況によっては、高速バス停で少し待っていただく場合もある。
- 委員：有漢の運行計画は、住民アンケート調査を基に作られているのか。住民説明会等はどのように行ったのか。
- 事務局：全町内会長の方に集まってもらって、協議していただき、町内会長を通じて住民の方に説明してもらった。それだけでは、理解しにくい面もあり、体験乗車会を実施した。
- 委員：町内会長を通してでは、うまく浸透しないと思う。やはり、利用する人を集めて対面で説明する必要があると思う。
- 委員：車のない人は、どのように暮らしているのか。その人達のニーズを把握する必要がある。アンケートで月2日以上利用予定者のダイヤや運行希望日をチェックしてほしい。
- 事務局：了解しました。
- 委員：高梁中央病院も診察科目が曜日によって異なるので、そうしたことも考慮して毎日運行を考えてほしい。また、独居高齢者等は近所の方に頼んで車を出してもらっている。
- 副会長：公共交通には限界もあるが、できるだけそうした人達に対応していきたいと思う。有漢の運行日について、毎日運行という意見が出ているが、これについて意見はないか。
- 事務局：需要に見合った運行を基本にしており、他の例では曜日運行と毎日運行で利用者数に変化は無く、持続可能な運行を考えれば、週3日の曜日運行で様子をみたい。
- 委員：現在の利用状況からすると曜日運行でよいと思う。

○副会長：他に意見はないか。なければ、月・水・金を運行日とする計画案でよいか。

→ 承認

○委員：乗降場所としてJAを新設とあるが、旧有漢庁舎周辺は施設が集中して尾p莉。フリー乗降でよいのではないか。

○事務局：市町村有償運送では、エリア運行ができないため、運送方法の手続きとしては、路線運行で認可を受けている。また、乗降場所については、当初フリー乗降区間等も検討したが、歯止めが利かなくなるため、所定の乗降場所を設定した。

○専門員（運輸支局）：サービスというものさしだけでなく、時間を含めたコストも考えていただきたい。乗合というのは、みなさんに少し我慢していただいて、時間や目的地をある程度決めて、それに合わせて生活し、かかるコストを節約して長く利用していきましょうというものであると考える。

○事務局：補足として取り扱いは、市の生活福祉バスと同じ扱いであり、条例で定める必要があるが、本格運行となった場合は、議会承認を得て条例で定める必要があることをご承知願いたい。

○副会長：他に意見はないか。有漢乗合タクシーの運行計画案を承認するか。

→ 承認

②市街地循環線実証運行計画変更案について

○副会長：循環バスの運行計画変更案について意見は無いか。変更はいつから予定しているのか。

○事務局：23年4月からの変更を予定している。

○副会長：意見は無いか。なければ、午後の便を北ルートから南ルートを廻るようになる計画変更案を承認するか。

→ 承認

(2) 平成23年度計画事業（案）について（事務局説明）

○委員：地元としては、利用する人に集まってもらい検討したいと思うし、期待している。

○副会長：他に意見は無いか。なければ平成23年度計画事業案を了承するか。

→ 承認

(3) その他

①平成22年度計画事業に係る事後評価（二次評価）結果報告（事務局説明）

②休止中のゆらら線の廃止予定について（事務局説明）

③福地乗合タクシーの利用状況報告（事務局説明）

4. その他

地域公共交通確保維持改善事業への移行について（村上専門員説明）

5. 閉会

橋本委員あいさつ